

イノベーションの駆動力としてのスマートシティ実行計画（仙北市）

グローバル・イノベーションを具体化し、市民生活の質の向上、産業の活性化、雇用の拡大等、地域内の生産性向上を目指す。

目標	
・自動運転型モビリティサービス売上高	： 0円（現状） → 4,300,000円（2030年度）
・水素供給サービス売上高	： 0円（現状） → 1.1億円（2030年度）
・観光宿泊者数	： 514,256人（現状） → 860,000人（2030年度）
・農業産出額	： 56.2億円（現状） → 60.0億円（2030年度）
・ドローン物資配送サービス売上高	： 0円（現状） → 1,000,000円（2030年度）

取組概要	
無人自動運転車両を活用した移動型サービス	A I 深層学習のためのデータ取得を先行実施し、条件の悪い地方での課題を踏まえたサービスの実現に取り組む
スマート農業	各種センシングやドローン・A I 等の活用、農業の経験知や技能の見える化による新規就農者獲得、就農年齢延伸を図る
ドローンによる物流サービス	非効率な配送となる低密度集落において、ドローンによる生活物資等の配送サービスの実現に取り組む
観光施策の高度化	観光人流データに基づいた観光戦略により、通過型観光地から滞在型観光地への転換、観光消費額の向上を目指す
水素エネルギーの域内活用（水素ドローン）	玉川温泉水から得られる水素の域内での安定的な生成、産業化を目指すとともに、ドローンの燃料電池としての搭載を検討

